

大切な家族のために 子どもをたばこから守ろう



妊婦がたばこを吸うと、

おなかの赤ちゃんにこんな影響があります

ニコチンは胎盤への血流量を減らし、また、一酸化炭素は酸素をおしよけて血液中の酸素を運ぶ役割のヘモグロビンと結合するため、胎児・胎盤の成長・発達に必要な酸素が不足します。



妊娠中に喫煙することで増える
胎児の発育障害・胎盤トラブル

流産・早産 低出生体重児 新生児死亡 胎児死亡



出産後の喫煙も

こんな影響があります

母乳への影響

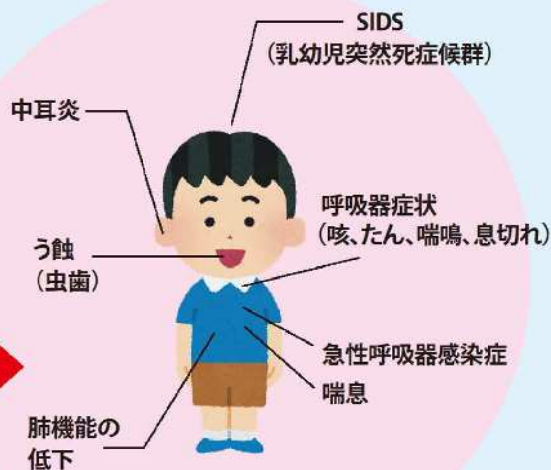
授乳中のお母さんがたばこを吸う

ニコチンが母乳に入る

母乳分泌の低下

赤ちゃんにニコチンによる症状が出現
(不眠、おう吐・下痢、頻脈など)

子どもへの影響



子どもの受動喫煙も危険です (たばこの煙を吸わされること)

部屋の中の
たばこの煙※を
子どもが吸う



※部屋の中のたばこの煙：喫煙者の吐き出す煙（呼出煙）とたばこの点火部から立ち昇る煙（副流煙）が混ざり合ったもの。とくに副流煙は、多くの有毒物質を含む。

たばこで起きます。こんな事故



誤飲

たばこは子どもの誤飲の第1位で、1本でも命の危険があります。吸い殻入れの水も危険です。

やけど

歩きたばこや育児中のくわえたばこは、子どもをやけどの危険にさらします。

子どもをたばこから 守る三原則

- 1 家族が禁煙を目指す
- 2 少なくとも子どものいる部屋では吸わない
- 3 たばこ、吸い殻を子どもの手の届くところに置かない



台東保健所 浅草保健相談センター

承認番号 29福保保健第686号
編集 東京都多摩立川保健所
東京都福祉保健局保健政策部健康推進課